

2023

7/23 日
14:00~15:30

<青涼能> 賛助金4,000円
能 **龍田** シテ 上田 顕崇 ワキ 江崎欽次朗
アイ 善竹 隆平
笛 斉藤 敦 小鼓 古田 知英
大鼓 森山 泰幸 太鼓 中田 弘美

8/11 金祝
14:00~16:00

<謡とお話の会> 入場料3,500円 (仕舞・お話有)
素謡 **求塚** 上田 拓司 ・ 浦田 保親

12/28 木
14:00~15:30

<木曜会> 入場料3,500円 (仕舞・お話有)
素謡 **車僧** 吉井 基晴 ・ 上田 拓司



瓦照苑 青涼会

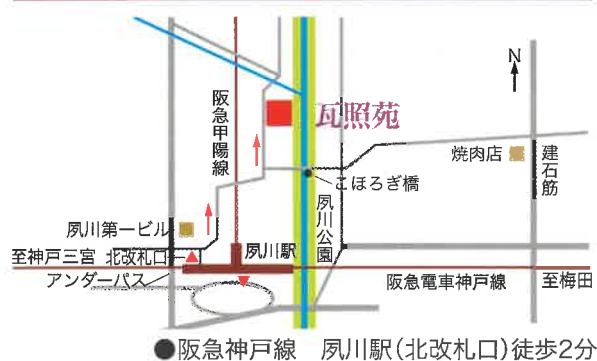
令和
5年度

のお知らせ



会場

夙川能舞台 **瓦照苑**



2024

2/25 日
14:00~16:00

<舞囃子の会> 入場料3,500円 (お話有)
舞囃子 **富士太鼓** 上田 顕崇
舞囃子 **高野物狂** 上田 拓司
笛 貞光 智宣 小鼓 上田 敦史
大鼓 山本 寿弥
舞囃子 **熊坂** 上田 宜照
笛 貞光 智宣 小鼓 高橋奈王子
大鼓 山本 寿弥 太鼓 中田 一葉

3/14 木
14:00~16:00

<木曜会> 入場料3,500円 (仕舞・お話有)
素謡 **鞍馬天狗** 上田 拓司 ・ 吉井 基晴

〒662-0063 西宮市相生町10-11
TEL.0798-55-7362 FAX.0798-55-7363
メール terasu@kanshou.com
ウェブサイト https://kanshou.com



各公演とも、ご予約にて定員に達しました場合、以降の受付および当日でのご入場をお断りする場合がございます。ご予約がお決まりになりましたら、お早目のご予約をお願いいたします。

※照の会の会員様は
有料公演各500円割引にてご入場いただけます。

※開場は各公演とも30分前です。
※表記の終了時間は予定です。
※都合により演者等が変更になる場合がございます。

主催:夙川能舞台 瓦照苑(一般社団法人 瓦照苑) 共催:有限会社 瓦照苑
後援:西宮市・西宮市教育委員会・公益財団法人 西宮市文化振興財団

古来より普く芸能は、三熱に苦しむ神の心を涼しめる物——

また、常緑の松は四季を通じて尚、青々とし、能舞台に描かれた老松は、能楽そのものです。夙川能舞台瓦照苑では、素謡、舞囃子、能を通して、眼前に広がる夙川公園の青松の如く、皆様の心にほっとした一息を、涼しいひとときを過ごしていただけることを願います。

長く受け継がれてきた美しい「^{ことば}詞」、その情景、心情を声のみで表現。

素謡——〈謡とお話の会〉〈木曜会〉

素謡とは、囃子や舞を伴わず、謡のみで上演する演能形式です。当会では、囃子を用いず能の曲の舞の一部を上演する仕舞と、演目についての解説があります。

演者を”楽しむ”…
際立つ舞い手の個性と技。

舞囃子——〈舞囃子の会〉

舞囃子とは、能の曲の舞所だけを取り出して、シテが地謡と囃子をまとって舞うものを指します。能面・装束はつけず、紋付袴姿で舞いますが、それゆえ舞い手の個性や技が際立ちます。〈舞囃子の会〉では、舞囃子を、演者の解説とともに楽しめます。

囃子、装束、^{おもて}面——
能舞台に映る室町からの物語

能——〈青涼能〉

能とは、能楽の一番本格的な上演の形です。登場人物は皆、能装束を付け、囃子、地謡に囲まれた空間で、謡や舞を通して、一曲に込められた物語をご覧ください。

なお席数に限りがございますので、要事前予約とさせていただきます、定員になり次第受付終了とさせていただきます。



演者による曲目解説もございます。

夙川能舞台 瓦照苑について…

広い世代の方々に、
能をもっと、親しく知っていただきたい。

瓦照苑は、風光明媚な地、夙川を拠点とし青涼会はじめ、演能や講演、稽古など、さまざまな活動を行っています。

能は、室町時代から現代まで続いている舞台芸術で、ユネスコの「無形文化遺産」。約650年もの間、一度も絶えることなく人々の心を捉えてきた能に触れる機会を、ぜひともお持ちいただきたいと願っています。

3/14

素謡「鞍馬天狗」

花見の興を削がれた僧達が立ち去った後、一人残った稚児。その稚児が沙那王(牛若・源義経)と知った山伏は、自分は鞍馬山の犬天狗だと名乗り、兵法を授ける約束をして姿を消す。

2024

2/25

舞囃子の会

亡き夫の形見を身に着け狂う妻「富士太鼓」、主君の世嗣の出家に心乱す男物狂「高野物狂」、牛若丸に挑み敗れた無念を長刀に乗せて奮い語る盗賊「熊坂」——見どころ聞きどころに溢れる三曲を上演。

12/28

素謡「車僧」

牛を繋ぐ破れ車に乗る変わり者「車僧」。愛宕山の天狗・太郎坊はその奇行につけこみ、車僧を天狗魔道に誘惑しようとする。と禪問答や行比べを仕掛けるが、ことごとく打ち破られて…。

8/11

素謡「求塚」

二人の男に求婚された女は死を選び、亡骸の塚の前で、男たちは刺し違える——。瓦照苑からも程近い、求塚の由縁を聞いた僧が弔いを始めると、女の亡霊が現れ、八大地獄の苦しみを語る。

2023

7/23

能「龍田」

奈良の寺社、龍田明神へ参ろうと向かう旅の僧を呼び止める女。巫女だというその女は、龍田川の紅葉を乱してはならぬと、川を渡ろうとする僧を引き留め、別の道を案内する。境内には、冬にもかかわらず紅葉をたたえる一本の木。僧が不審に思い尋ねると、女はそれは龍田明神の神木だと教え、自分は龍田姫の神霊であると名乗って、社殿の中へと消えていく。夜、僧が祈っていると、龍田明神が現れ…。